

令和7年度第1回東大和市学校給食センター運営委員会 会議要録

日 時 令和8年2月17日（火）13時30分から14時30分まで

場 所 東大和市学校給食センター会議室

出席者 【委員】（9名）

【東大和市教育委員会】

岡田教育長、田口教育部長、加藤教育総務課長、

國森給食係長、小林主任、

森田（紗）栄養士

次第

1 教育長挨拶

2 教育委員会からの諮問の伝達

3 議題

令和8年度東大和市学校給食事業計画（案）について

4 その他

（1）令和8年度の運営委員について

（2）令和7年度事業報告について

会議録

午後1時 30 分 開会	
会長	皆さま、こんにちは。本日はお忙しい中、東大和市学校給食センター運営委員会にご出席いただきましてありがとうございます。 会議に先立ちまして、事務局より、本日の資料の確認をお願いいたします。
加藤課長	それでは、資料の確認をさせていただきます。 まず、事前に送付させていただきました、 ・「令和7年度第2回東大和市学校給食センター運営委員会次第」 ・資料1「令和8年度東大和市学校給食事業計画（案）」 ・資料2 運営委員会委員役職ローテーション表 ・資料3 令和7年度事業報告資料 以上の4点でございます。 資料に過不足のある方がいましたら、挙手をお願いいたします。 なお、本日、教育委員会からの諮問がございますが、諮問書の写しにつきましては、伝達後に皆様にお配りさせていただきます。 また、会議録作成のため、本日の会議を録音させていただきます。ご了承ください。 なお、ご発言の際には氏名を仰ってからご発言くださいますよう重ねてお願いいたします。
開会	
会長	本日の会議につきましては、東大和市学校給食センター運営委員会規則第5条第2項の規定に基づき、委員の半数以上の出席が必要となります。 本日、委員の半数以上のご出席をいただいておりますので、ただいまから、令和7年度第2回東大和市学校給食センター運営委員会を始めさせていただきます。 議題に入る前に、本日の委員会につきましては、只今、傍聴の許可願いは提出されておりませんが、会議中に傍聴許可願いが提出された際、審議に支障の無いよう、あらかじめ取り扱いを確認させていただきます。 傍聴につきましては「東大和市学校給食センター運営委員会会議の傍聴に関する取扱要領」に手続きが定められております。 傍聴許可願いが提出された場合に、許可することにご異議ございませんか。 ～ 異議なし ～ 異議がないものと認め、会議中に傍聴許可願いが提出された際、速やかに傍聴を許可いたします。 はじめに次第の1、東大和市教育委員会 岡田教育長よりご挨拶をお願いいたします。
1 教育長挨拶	

岡田教育長	皆様、こんにちは。教育長の岡田でございます。 本日は、ご多用の中、東大和市学校給食センター運営委員会にご出席いただきましてありがとうございます。 また、日頃から、学校給食をはじめ、当市の教育行政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。 さて、本日の議題は、令和８年度の学校給食事業計画（案）についてであります。 詳しくは、後ほど担当からご説明をさせていただきますが、令和８年度は、給食会計のより一層の透明性が求められることから公会計化をする予定でございます。 また、給食センターでは初めての実施となる「食育講演会」や給食センターの計画的な施設修繕などを新たに計画に入れておりますので、ご審議の程よろしくお願い申し上げます。 委員の皆様におかれましては、学校給食事業に、引き続きのご理解とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます、私からのご挨拶といたします。
会長	ありがとうございました。 続きまして、次第の２、教育委員会からの諮問の伝達を行っていただきます。 事務局の加藤教育総務課長、進行をお願いいたします。
２ 教育委員会からの諮問の伝達	
加藤教育総務課長	議題の「令和７年度東大和市学校給食事業計画（案）について」教育委員会から東大和市学校給食センター運営委員会に諮問いたしますので、ただいまより伝達式を行います。 それでは、教育長お願いいたします。
《 伝 達 式 》	
加藤教育総務課長	ありがとうございました。ご着席ください。 それでは、廣本会長、引き続き議事進行をお願いいたします。
会長	ただいま伝達が終了いたしましたので、次第の３、議題に入ります。 「令和８年度東大和市学校給食事業計画（案）について」事務局から説明をお願いいたします。
３ 令和８年度東大和市学校給食事業計画(案)について	
加藤教育総務課長	議題 令和８年度東大和市学校給食事業計画（案）につきまして、内容のご説明を申し上げます。 令和７年度までは、給食会計の予算案も併せて諮問しておりましたが、令和８年度から給食会計の公会計化で、市の一般会計予算として計上を予定していることから、事業計画のみ諮問することとしております。 なお、公会計化をすることによるメリットとしては、市の一般会計予算に組み入れられることで、今まで以上に学校給食費の管理における透明性を確保することができる事や私会計下で学校給食費を徴収管理している場合は、未収金の増加などに伴い食

	材調達費に不足が生じる可能性がありましたが、公会計化することにより市の歳出予算からの支出となるため、学校給食の安定的な実施が可能となることが見込まれます。 それでは、事業計画案の説明に入らせていただきます。 資料１ 事業計画（案）の１ページをお開きください。 はじめに、第１ 学校給食の目的であります、学校給食法の引用となりますが、学校給食の役割や実施すべきことなどを記載しております。 次に、第２ 学校給食事業の主旨であります、 学校給食事業で実施する主なものにつきまして、１.食育の推進では、食育に関する情報 発信や地元農家との連携に加え、給食センターで初めての実施となる「食育講演会」について記載しております。 また、前年度から引き続き、２.地場農産物活用の促進、３.試食会の実施、４.残菜率の抑制の４点に加え、新たに、５.学校給食費の公会計化、６.給食センターの計画的な施設修繕を 追記させていただきました。 次に、第３ 学校給食センターの稼働日であります、令和８年度は年間１９６日でございます。 こちらは、４ページをお開きいただきまして、別表１に記載しておりますが、土・日・祝日のカレンダーの状況により令和７年度と比較して３日減少しております。 ２ページにお戻りください。 次に、第４ 年間給食日数であります、こちらは「東大和市学校給食センター給食費に関する規則」で定める、学校給食費の算定基準となる日数で、今回、変更はございません。 次に、第５ 栄養摂取基準及び食品構成であります、 学校給食センターでは、国で定める「学校給食摂取基準」や、「学校給食の標準食品構成表」を参考として、栄養士が献立を作成しております。 詳細は、５ページの別表２・別表３に記載しております。 これらは児童生徒１人あたりの給食１食あたりの数値として記載しておりますが、令和７年度と変更はございません。 ３ページをお開きください。 次に、第６ 食材料であります、市教育委員会が定める食材料の選定の方法など、選定基準を記載しております。
--	---

	最後に、第7 給食費であります。令和8年度においても児童・生徒に係る学校給食費の無償化を実施する予定であることから、保護者の負担は発生しない旨を記載しております。 ただいまご説明した内容につきまして、本日委員の皆様にご意見等をまとめた後、答申書を作成し、令和8年3月26日開催予定の第3回教育委員会に答申の報告をする予定でございます。 説明は以上でございます。よろしくお願い申し上げます。
会長	事務局からの説明が終わりました。 何か、ご意見ご質問がございましたら挙手をお願いいたします。
委員	事業計画案1 ページ目、第2の1.食育の推進の中で「栄養士が学校へ出向き食育授業を実施します。」とありますが、栄養士は教職員ではないため、直接授業ができないので「学校の教員と連携して」などの文言を加えたほうがいいと思います。
加藤課長	ご意見のとおりですので、修正させていただきます。
会長	他にご意見、ご質問はありませんか。 質問等がないようですので、質疑を終了いたします。 お諮りいたします。議題の「令和8年度東大和市学校給食事業計画(案)について」、ご意見のあった事項以外は事務局案のとおりとすることにご異議ございませんか。 ～ 異議なし ～ ありがとうございました。なお、答申にあたりましては、事務局の案をもとに会長に一任していただきたいと存じますが、いかがでしょうか。 ～ 異議なし ～ ありがとうございました。 続きまして、次第の「4、その他」に移ります。 「(1) 令和8年度の運営委員について」、事務局から説明をお願いいたします。
4 その他 (1) 令和8年度の運営委員について	
加藤教育総務課長	それでは、令和8年度の運営委員につきましてご説明いたします。資料2をご覧ください。 こちらの資料2は令和6年度の運営委員会で委員の皆様にご承認いただきましたものになります。令和8年度の運営委員ですが、小学校は第三小学校及び第四小学校、中学校は第二中学校が担当校になります。 なお、会長は第三小学校、副会長は第四小学校、監査は第二中学校となりますのでよろしくお願い申し上げます。依頼につきましては、新年度になってからそれぞれの学

	校に依頼させていただきます。 また、令和８年度から給食会計を公会計化することに伴い、令和９年度以降の監査がなくなる予定ですので、こちらのローテーションにつきましては次年度の運営委員の中で再度検討させていただきたいと考えております。 説明は以上でございます。
会長	事務局からの説明が終わりました。 何か、ご意見ご質問がございましたら挙手をお願いいたします。
委員	令和９年度以降は中学の保護者も会長・副会長の輪番に入ることによってよろしいでしょうか。
加藤課長	事務局ではその方向で考えておりますが、来年度の運営委員会でそのあたり諮らせていただければと考えております。
会長	他にご質問等ございませんか。 質問がないようですので、質疑を終了いたします。 続きまして、「（２）令和７年度事業報告について」にあたり、機材の準備をいたしますので、そのままでお待ちください。
４ その他 （２）令和７年度事業報告について	
会長	それでは、事務局から説明をお願いいたします。
森田栄養士	それでは４その他 （２）令和７年度事業報告につきまして、今年度の取り組みを説明させていただきます。 「給食の内容について」、「食育について」、「地場農家との連携について」、「災害対策への取り組みについて」の４点をお話します。 始めに、給食の内容についてです。 １１月にはイラストコロッケを提供しました。このイベントは、平成３０年度から毎年続けております。 各校１つお子さんが描いたイラスト、または学校のキャラクター等を提供していただき、食材納入事業者に依頼をし、コロッケにプリントしたものを給食で提供しています。 イラストの部分には、食品由来の色素が使用されています。今年度は全小中学校からイラストの提出がありました。 先程のイラストがコロッケになったものです。 毎年素敵な作品が集まるので、私たちもとても楽しみにしています。

	友好都市喜多方市で収穫された喜多方産米「特別栽培米 コシヒカリ」を給食で提供しました。 喜多方市産米にちなんで、「ざくざく」や「会津ソースカツ」など福島県の郷土料理を合わせた献立にしました。 こちらの写真のとおり、こどもたちは美味しいお米を喜んで食べていました。 今年度は「第20回全国学校給食甲子園」に挑戦し、4年ぶりに応募しました。東大和市の自然の恵みと郷土の魅力を子どもたちに伝えることを目的に、地域の食材を詰め込んだ「東大和の実りを感じられる給食」を目指しました。応募献立は、狭山茶っ葉ごはん、秋野菜の打ち豆汁、手作りビーツコロッケ、東大和野菜の塩麴炒めです。子どもたちが“東大和市”の味を感じられるよう、「狭山茶」などの特産品や地場野菜のビーツ、にんじん、ごぼう、さつまいもなどをふんだんに使用した献立構成としています。アピールシートには、狭山茶の特徴や、ビーツコロッケがどのように作られたのかをまとめた資料を活用して食材の魅力をPRしました。 残念ながら今回は予選で敗退してしまいましたが、今後に向けていい経験となりました。 小学校6年生児童を対象に、「卒業お祝い給食」としてお弁当給食を提供予定です。これは、昭和60年度から続いている取り組みです。 昨年度から子供たちが好きなから揚げやハンバーグなどを入れた洋食のお弁当を提供しました。 お弁当の他に、飲み物は、緑茶、みかんジュース、コーヒー牛乳の3種類から各自選んでいただきます。 中学校3年生には、「卒業お祝い給食」として、セレクト給食を提供予定です。今年度は、揚げパンを3種類から一つ、事前にセレクトしてもらいます。飲み物も牛乳、緑茶、みかんジュースの3種類から各自選んでいただきます。今年度の感想をもとに、来年度も生徒の皆さんに喜んでもらえるものにしていきたいと考えております。 給食費改定による献立への影響についてです。 改定前は、栗ごはんやさんまなどは給食費内で抑えることができず提供できませんでしたが季節の食材や果物などをこれまでより取り入れられるようになりました。 また、肉の部位なども最低価格で入札していましたが、今は献立に一番合った部位なども購入できるようになりました。
--	---

	今後も美味しさで選び、魅力のある給食を提供していきたいと考えています。 安心・安全な給食を提供できるよう、各種衛生検査も行っております。 食材の納品後、洗浄後、調理後の細菌の有無を検査する食材検査は2回 施設の衛生状態を検査するため調理場内の拭き取り検査は1回 納品された魚の温度管理の確認のためヒスタミン検査を1回行いました。 全て問題のない結果でしたので、衛生的な食材の取り扱いを、引き続き心がけていきたいと思います。 安心安全な物資の選定を行うため、半年ごとに300種類以上の物資を見直しています。 原則国産の物資を使用するようにしていますが、外国産のものを使用する時にも安全性を確認してから使用するようにしています。 次に、食育についてです。 社会科見学の受け入れを例年行っており、今年度は小学校9校とサポートルームの児童・生徒の皆さんにお越しいただきました。 食育授業は、小学校10校、中学校2校とサポートルームで実施をしました。 「給食ができるまで」や、カルシウムについてなど、各学校の希望の内容や時期に合わせて実施しました。 中学生の職場体験は、今年度も中学校5校の受け入れを行いました。 給食の調理体験や、献立作成をしてもらい、中学生が考えた献立を実際の給食でも提供しました。 毎日の給食に目を向けてもらい、残さず、楽しく食べようという意識を高めることを目的に、月に1回「ラッキーにんじん」の取り組みを実施しています。 食缶に星型に型抜きしたにんじんをクラスに1セットずつ配食します。 12月にはブロッコリーの芯を型抜きした「ラッキーブロッコリー」を初めて提供しました。 市の公式動画チャンネルに食育動画も掲載しています。 毎月の給食だよりに食育動画の紹介や二次元コードを掲載しています。 SNSでも給食のレシピや献立について発信しており、今年度は1月末現在で24件投稿いたしました。 季節の献立や郷土料理を給食で提供した時など、挙げていますので市公式XやLINE、Facebook などフォローしていただけたら幸いです。
--	--

	今年度は試食会を積極的に行いました。今年度初めての取り組みとして個人で申し込める「学校給食センター見学試食会」を年に3回、5人以上のグループで申し込める「学校給食センター市民グループ見学試食会」を7月から夏休みを除き毎月開催して3月までを含めると8回実施いたしました。 市報やSNSで開催の案内をし、申し込み開始から一週間で定員になるなど多くの方に申し込みいただきました。また、来年度小学校へ入学予定の保護者の方なども多く申し込みしていただいています。 保護者向けの試食会も学校で1回実施しました。 市議会議員を対象とした試食会も今年度は給食センターで1回と2/27には市役所で1回実施する予定です。 夏には、体験型見学試食会を実施しました。 昨年度までは2日間で実施していましたが、申込の倍率が高く、参加できなかった方が多かったため、今年度は3日間にして参加できる人数を大幅に増やしました。 内容は、市内の小・中学生とその保護者の方を対象とし、実際に普段入ることのできない調理場で学校給食の調理体験をし、その後に試食をする、というものでした。 参加していただいた方々には、とてもご好評をいただきました。 続きまして、地場農家との連携です。 地場産物テーマでの授業の際、農家の方にご協力いただき、直接お子さんたちに農業の苦労や工夫していることをお話ししていただきました。また、実際に栽培している野菜を見せていただき、とても貴重な機会になったと思います。 そのほかに、給食係の職員、栄養士で畑を訪問し地場産物の生育や収穫の様子を見学したり教えていただいたことも食育の授業で伝え、SNS等で発信をしています。 今年度は地場農家との意見交換の中で、給食センターで使用する野菜の年間使用見込を作成し、事前に配布することで地場野菜の使用の促進を行いました。 地場産物を給食に積極的に取り入れています。 今年度も、東大和市産の多摩湖梨やブルーベリーを使った手作りジャム、狭山茶や東大和市産の紅茶を使ったケーキも提供しました。 また、東大和市産の里芋の親芋部分を使用した、里芋コロッケも2月5日から～9日までの3日間、提供しました。 7月には、地場農家の方々にご協力していただき、給食で初めて星形きゅうりを提供しました。
--	---

	写真のように星型の型に成長前のきゅうりをはめ込むと星型きゅうりが出来上がります。 七夕メニューに合わせて提供し、子供たちは初登場の星形きゅうりに興味津々でした。 12月からSDGSの観点から地場野菜の中でも規格外野菜も積極的に活用しています。 地場農家の方々が丹精を込めて作ったものでも、市場の規格に合わないものは自家用で食べていたり、廃棄されていましたが、給食センターで使用可能なものは農家さんと調整して活用するようにしています。 災害対策への取り組みとして、10月に行われる市の総合防災訓練の中で湯沸かし訓練を実施しました。実際に災害が起きた時を想定し、プロパンガスと非常用の釜でお湯を沸かし、訓練の中ではアルファ化米を作りました。 結びになりますが、食育の授業で学校へ伺った時に、「いつも給食が楽しみです」と声をかけてもらうことがあります。 食育の観点から、和食や行事食などの伝統的な料理を出すことのほかに、子供たちが給食を楽しみにしてもらえるような給食を提供していきたいです。 これからも子供たちの心と体を元気にできるような給食を努力して作ってまいりたいと思います。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。 お時間をいただき、ありがとうございました。
会長	事務局からの説明が終わりました。 何か、ご意見ご質問がございましたら挙手をお願いいたします。
加藤課長	補足でスライドにありました星形きゅうりにつきましては今年度初めて行いました。農家さんにご協力いただき、給食に提供することができました。 今後も農家さんと連携して新しい試みを行いたいと思っております。 また、給食甲子園につきまして、給食費無償化と改定を行いまして、内部では今までより良い物を出せるようになったと言っておりますが、他自治体と比べた時の立ち位置が知りたいと思い参加しました。 残念な結果ではありましたが、来年も参加したいと思っております。 以上です。
会長	他にご意見等ございませんか。 質問がないようですので、質疑を終了いたします。 以上で本日の議題は終了とさせていただきますが、全体を通して皆様から何かご質問等はございますか。

加藤課長	今年度中に児童・生徒、教職員、保護者を対象とした学校給食についてのアンケートを実施させていただきたいと考えております。
会長	他にご意見等ございませんか。 質問がないようですので、質疑を終了いたします。 これをもちまして、令和7年度第2回東大和市学校給食センター運営委員会を閉会といたします。 委員の皆様のご協力に対しまして、お礼を申し上げます。 本日はありがとうございました。

閉会